

第2回 災害時公衆衛生活動ネットワーク ワークショップ

備え

顔の見えるネットワーク構築を目指して

近年、特に昨年は大きな自然災害の多い年になりました。現在も被災地では復興に向けて厳しい努力を続けている方が多数おられます。被災地の復興を目指した支援も大切ですが、日頃からの「備え」が最大の減災であり、感染防御につながるものと考えます。これまでの被災地の状況のヒヤリング等から、その備えのネットワークが大きく、確かなものであることが重要と思われます。

行政との連携、在宅との連携、他県との連携などのネットワークについてのワークショップです。災害関連、病院関連、在宅関連、行政関連、公衆衛生関連等、多くの方にご参加いただき、実働するネットワークについて、活発な意見交換ができますようお願いしております。多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時：2019年6月8日(土) 9:15～ 12:30 (受付9:00～)

場 所：久留米大学 医学部看護学科 A棟4階 講義室4

参加費：無料 ※懇親会へご参加いただく方にはお弁当代として500円徴収させていただきます。

【プログラム】

時間	テーマ	講師
9:15～9:20	開講式、オリエンテーション	久留米大学医学部看護学科 教授 三橋 睦子
9:20～10:10	知ってますか？ 発災後のDMAT, JMATの活動	久留米大学病院 高度救命救急センター 教授 山下 典雄
10:10～11:00	久留米市 水防対策の現状と課題	久留米市保健所 総務部 防災対策担当部長 渋谷 克也
11:00～11:10	休憩	
11:10～12:00	久留米で発災！ どうする保健医療分野の行政対応	久留米市保健所 所長 内藤 美智子
12:00～12:30	意見交換会	
12:30～	懇親会	

下記に「ご所属」「お名前」「連絡先」をご記入の上、5月27日(月)までにFAX又はEmailにてお申込みください。

所属		お名前	
TEL		FAX	
E-mail		懇談会への参加の有無：参加（ ）不参加（ ） ※（ ）内に○をご記入下さい	

主催：久留米大学大学院医学研究科 感染症看護分野 CNS 養成・感染症看護分野国際実践

事務局／担当者名：久留米大学医学部看護学科 佐藤

TEL：0942-31-7714 FAX：0942-31-7715

E-mail：yuka0503@med.kurume-u.ac.jp